

# 2016ヤギ飼養マニュアルver.2

広島ミニヤギ牧場

## 1 ヤギの特色

- 牛は食べる量が多いが、体が大きく取扱いが困難で、傾斜地に適さない。
- 羊は定期的な毛刈りが必要で、放牧で30度以上の傾斜地が苦手であり、単一の草を好む。  
ヤギは食べる量は少ないが小型で運搬、取扱いが容易。狭い土地や傾斜地に対応できる。
- ヤギは多種多様な雑草や木の芽、葉を好み、食性の幅が広いが、同じエサにあきやすい。
- ヤギの寿命は、飼育環境にもよるが10年～12年程度と言われている。

## 2 ヤギの期待される効果 — 環境と人にやさしい—

ヤギは1頭につき、1日当り、約5kgの生草（乾物草量として1.0～1.5kg）を食べます。  
1日当り3～4㎡程度の面積が必要です。

また、人が除草するのに困難な急斜面にも登り、草を食べてくれるので刈りとった草の手間を大幅に軽減できる効果があります。機械のようにきれいで、短時間に除草はできませんが、足で踏みつけ、次の年には、草が生い茂る状態を防ぐ効果があります。

アニマルセラピー（癒やしの効果）

## 3 ヤギの飼に必要な道具

### ①環境づくり

#### ヤギ小屋

壁を設置して、逃亡防止対策と野犬等の害獣対策を行う。また、床面は高くして湿気対策（床面のない小屋にはスノコを置き、下に敷き藁やもみ殻をしく）をします。

### ②そろえる道具

㊦首輪…犬用の首輪。仔ヤギは成長が早いので、サイズや首輪の締め付け具合も定期的確認します。首輪がきついと、首がしめつけられ、飼料を食べなくなります。

### ㊧ロープ、ナスカン（リード及び繋牧用ロープ）

軽量でよじれにくく、湿気を吸いにくいロープにナスカンを取り付け、繋牧用とリード用に使用します。

### ㊨杭（ペグ）＋ハンマー

ホームセンターで売っているペグが良い。しっかりと地面に刺さり、容易に抜けないもの長さのものを選びます。草を全部食べつくす前に場所を移動します。

### ㊩水バケツ

できれば、金属製のもの。汚れた水は飲まないで毎日、水を交換します。

### ㊪鉱塩（ミネラル塩）

鉱塩は水に溶けやすいので、雨にあたらぬよう小屋の中に置く。

### ㊫エサ（配合飼料）＋えさ箱（金だらい）

ヤギが大変好んで食べ、ヤギを小屋に誘導したり、ご褒美にするエサです。1回、一握り程度で1日1～3回程度を給与します。食べ過ぎるとお腹をこわし、下痢をします。

### ㊬エサ（干し草）

冬場の草が不足する時や雨天で外に出れない時、夜間に補助給餌する時のエサとして必要です。（イタリアンライグラス、オーツ、スーダンなどがあり、農協でも取り扱っています）。

### ㊭虫よけ対策（ペット用蚊取線香）

蚊が媒介する病気（腰麻痺など）を防ぐため蚊取り線香が必要です。夏に床下にコンテナや植木鉢をひっくり返してその中に置くなどひっくり返さない工夫をします。

### ㊮駆虫薬イベルメクチン

フィラリアは蚊を媒介してヤギに感染し、腰麻痺（ようまひ）になるので定期的な駆虫が必要です。また、ダニの付着などを防ぐ効果もあります。獣医師等の専門知識を有する人し

か購入できませんので、動物病院にヤギを連れていき、イベルメクチンを処方してもらいます。概ね40日に1回程度で行うことが望ましいです。

#### ㊦ヤギのつめを切るハサミ

約2ヶ月に一度程度の削蹄が必要となります。ハサミは植木用の剪定ハサミで行います。

#### ㊧ほうき+ちり取り+ごみ袋（竹ほうき・ホーク）

糞が堆積すると臭いが出ます。ヤギ小屋は毎日、掃除を行います。

## 4 ヤギのお世話

### (1) いつもすること

㊦水やり…水は毎日取り替え、新鮮な水が飲めるようにします。

- ・水バケツの近くには「鉢塩」をプラスチック製の容器に入れ、ヤギが自由に補給できるようにします。

㊦放牧又は繋牧…ヤギを放牧地へ移動させます。

①放牧の場合…ヤギが逃亡しないよう、「電気牧柵又は鉄柵」等で放牧地の周囲を囲う。

②繋牧の場合…ロープにナスカンを取り付け、ペグをハンマーで打ち込み、つなぎます。

**重要** ヤギの死亡事故につながります！

※斜面や崖のすぐ近くで繋牧を行う…ヤギが足を滑らせて首つり状態になってしまうので注意します。特に、斜面の上にペグを打つと子ヤギが足を滑らせたり、転んだりして首をしめます。自分の足で立てるように地面からの高さ、ロープの長さをみて繋ぎます。

※樹木がある所で繋牧を行う…ロープが樹木や幹に絡まってヤギの身動きがとれなくなる場合があります。長い草や切株があっても同様の状態となります。必ず、ヤギの様子を見に行くようにします。特に、子ヤギはロープにからみ、窒息死するので注意。

※2頭以上で繋牧する…近すぎるとロープが絡まるので、ロープを繋ぐ位置をロープ同士が絡まない位置に距離を調整します。お互いのヤギの顔が見える距離であれば、2頭が離れていても寂しがって鳴き声をあげることはありません。特に、親子でつなぐ場合は、子ヤギが母ヤギに近づき、首にロープがからんで窒息死するので自由にするか、離してつなぎます。

#### ㊦放牧、繋牧の際の避難

熱射病の予防のため、日よけや雨風よけの退避用の簡易な小屋を用意します。

#### ㊦小屋から放牧地へ、そして放牧地から小屋への移動

ヤギの好物の配合飼料のエサを少量、与えながらヤギの移動をすると簡単にできます。

#### ㊦エサやり（乾草・干し草等）

1日朝と夕方の2回エサを与えます。生草や干し草を数日間、放置するとカビが生え、そのエサは食べません。無駄にならない程度、ほどよくエサが残るぐらい適量を与えます。

湿気を嫌うヤギは、雨天の時は外に出たがらないので雨天時のエサとして、また、冬期の草がない時期のエサとして、乾草（購入乾草であれば、イタリアンライグラス乾草、オーツ乾草、スーダン乾草など）を与えます。

#### ※冬期のエサの確保

オーツ乾草（1包23kg程度約1,600円）以外に、竹の笹、ドングリの木の葉、樅の木の葉、アカメの葉等、山や庭木にある植物を与え、冬期のエサの確保をします。

1種類のエサでは飽きるので、オーツ乾草だけでなく、竹笹+ドングリの葉等、複数のエサをやります。1日1回程度、穀物飼料を1握程度与えます。穀物飼料と併用し、米ぬかを使用する場合は、穀物飼料の量を減らします。

#### ㊦鉢塩の確認

ヤギはミネラルの補給のため、時々なめます。水に溶けやすいものもあるので、雨にあた

らないように小屋の中に置き、時々汚れていないか点検します。

#### ⑦小屋の掃除

糞や汚れたエサを履きだす、石灰を床にまくなど、小屋をいつも清潔にします。

※ヤギの牧草の購入目安（1頭あたり）1年を通じた目安

オーツ乾草1梱包（23kg）…約1,600円約1ヶ月で1梱包

※冬期の穀物飼料の目安

穀物飼料1袋（20kg）…約2,400円約5～6か月で1袋、圧ペントウモロコシ

※配合飼料

①ニチワ印若令牛育成用配合飼料 「スーパーカーフ14」

販売元：日和産業株式会社製造事業場の名称 日和産業株式会社三原工場

製造事業場の住所 広島県三原市木原町1501の9(代)0848-68-0011

②くみあい配合飼料 和牛繁殖子宝きらきらM

## (2) 時々、気をつけること

### ①放牧地の場所がえ

ヤギは、放牧地の草が少なくなるとおいしい草のありそうな放牧地の外に興味を持ち、放牧地から外に出ようとしたり、オスヤギは小屋や柵を壊したりします。また、脱走して外にあるおいしい草を食べると、また外に出たくなり脱走するくせがつきます。草が少なくなってきたら放牧地を変えます。ただ、草はあっても好きではない草が残っている場所もあるので、食べる様子をよく観察して場所を変えます。

### ②削蹄（爪切り）

定期的にヤギの蹄を確認し、およそ2ヶ月に一度の削蹄を行なう。道具には、剪定バサミを用いてします。削蹄では、ヤギが**あばれる**ので二人で行い、動かないよう、壁に押しつけるなどして、角に十分に注意し、暴れるようだと一度にしないようにする。

### ③駆虫薬の塗布

腰麻痺の防止やダニの駆除のために、定期的な駆虫が必要です。40日に1度の頻度で、イベルメクチンという薬を、背中に塗布する方法で行います。背骨、首筋にかけて、ヤギが舐めることができない場所の皮膚に直接、塗布します（だいたい、体重1kgあたり0.1ccの塗布です。体重40kgのヤギの場合、4ccを塗布する）雨にぬれて薬が流れてしまうと効果がなくなるので、晴れが続く日に塗布します。液が目に入ったらすぐに流水で洗い流します。

④除角は産まれて1週間から10日に行う。オスヤギの去勢は、1ヶ月までに輪ゴムで。

## 5 健康状態のチェック

### ①糞（ふん）の状態

糞の状態でヤギの体調を判断します。糞の色は、摂取した草や葉の状態により変化します。健康なヤギの糞は丸くコロコロ。体調が悪いとくっついてぶどうのふさのような状態やひどくなると水溶性の下痢をします。そのような状態の糞を見たら、獣医師に相談します。

### ②耳と尻尾、足の状態

ヤギは普段は、両耳がピンと立ち、尻尾も上にたっています。両耳と尻尾が垂れていた時は、糞の状態も確認します。足を痛がったら、とげが刺さっていることもあるので確認。

### ③退避用小屋の状態

小屋が壊れていないか、直射日光は防いでいるかを確認する。夏季は、日があたりすぎると熱中症をおこすこともあるので、背中で息をいっていたら日陰で休ませ水を与えます。

### ④放牧、繋牧時には見回り

1日に1回は見回りを行なう。繋牧の場合は、ロープが絡まったり、杭が抜けていたり、斜面から滑り落ちて首をつっていたり、また、放牧の場合は脱柵していたり、その他にも水バケツがひっくり返ったりする場合があります。1日中、ほったらかしは絶対しない。

### ⑤虫よけ対策

蚊は、吐く息に含まれる二酸化炭素、体温の熱、汗のにおい等によってくる習性があり、

ヤギの周りにはたくさん寄り付きます。蚊が媒介する腰麻痺などを防ぐために虫よけ対策を行ないます。植木鉢をひっくり返し蚊取り線香をヤギ小屋の床下に置く等の対策をします。

## 6 ヤギを飼う時の注意

### ①臭い

去勢していない雄ヤギの場合は、特有の臭いがありますが、雌ヤギや去勢した雄ヤギは気になるほどの臭いはありません。ヤギの糞尿は、臭いが少なく、糞の水分量が少ないため踏んでしまっても臭うことはほとんどほとんどありませんが、放置し糞が蓄積すると臭うので、毎日の掃除と糞の始末が大切です。特に雨降りに糞が濡れたら臭いが強くなるので注意。

### ②鳴き声と競合

ヤギは群れる習性（行動）がある家畜です。1頭飼いの場合は、仲間や人を探して鳴き続けます。2頭以上で飼育するようにし、お互いの姿が目に入るようにすれば鳴かなくなります。しかしヤギ同志にも相性があり、力関係に差がある場合は、弱いヤギがいじめられストレスが大きいので、夜間は別々の場所で休ませる工夫が必要です。

### ③逃亡（脱柵）と食害

ヤギが逃亡すると、付近の農作物を食べる食害があります。繋牧の場合、首輪が切れたり、自分で杭を抜いたりして逃亡してしまう可能性があります。見回りで首輪が切れていないか、しっかり繋がれているか確認します。「電気柵」においても、ヤギが電気柵に慣れていなかったり、電気柵の電気線と地面の間が開きすぎたり、柵の高さが足りなかったりすると逃亡してしまいます。ヤギが逃亡したくなる時は、次の2つが考えられます。

### ④放牧地の場所替え

(1) 好きな草が柵の中や繋牧の範囲内にない時や草がなくなりそうになる。  
草のある場所に移動させる。

(2) 危険や不安を感じたとき

野犬等の肉食動物を見たり、威嚇されたりし危険を感じると、その場から逃げたくなります。安全を認識できる場所として、3方向が囲われた簡易な小屋を準備すると、安全な場所と認識し、不安な場合は自分からその中へ入ります。

### ⑤野犬等の被害

ヤギの天敵は、野良犬、群れている野犬です。人里離れた場所や夜間等の人目が届かない時は、野犬や野良犬が入り込めない小屋又はフェンスが必要です。夜間は、避難舎に格納するのが安全です。緊急用の電灯など、明かりを置いておくと安心です。

### ⑥口蹄疫の予防

ヤギはペットではなく、法的にも「家畜」としての扱いです。他の家畜と同様に伝染病感染に注意する必要があります。放牧地には、関係者以外は立入させないことが大切です。立入る場合には、靴底を消毒するなどの対応をします。

### ⑦ヤギにとって有害な植物

人に懐いたヤギは、人が手で与えるエサは信用して食べてしまうので、確実に安全だと分かるものだけを与えます。

また、エサを与える時にビニール袋に入ったエサを誤ってビニール袋ごとを食べてしまうことがあります。ビニールは消化できないので大変なことになるのでエサは出して与えます。有毒な植物には、

タマネギ、シキミ、キョウチクトウ、アセビ、スイセン、ワルナスビ、アジサイ、ワラビ、ヨウシュヤマゴボウ、センダン、ユズリハ、レンゲツツジなどがあります。放牧前には必ず、その場所の植生を確認します。もしあれば、取り除きます。

※庭木には、有毒のものが多いので、剪定のくずを与える場合は特に注意する。

※ヤギは本能的に有毒植物を避けますが、放牧経験が少ない場合や草量が少ない場合には、

採食して、中毒を起こします。症状には、元気喪失、歩行異常、流涎、嘔吐、発泡、昏睡、痙攣、呼吸困難などであり、気が付いたら急いで獣医師に連絡します。

⑧角と頭突き…頭突きがひどい場合は安全のため、水道ホースを角の長さに切り「角キャップ」を付ける。

## 7 困った時は、こうします

### ①逃亡（脱柵等）した時

繋牧の場所の移動やつなぎかえ、柵からヤギが脱走した場合、ヤギは安心する場所か好きな草がある場所にいる可能性が高いので、まずそこを探します。複数のヤギが逃亡しても、ヤギは群れで動く習性があるので、同じ場所にいるはずで、好きな餌（圧ペントウモロコシ）を見せながら優しく近づき、声を掛けながらリードにつなぎ、保護します。

### ②草を食べず痩せてきた時…草を食べない原因として

#### ㊦暑いとき・湿気のある

ヤギは高温多湿に弱いので、日陰ができる場所か簡易な小屋を置く。地面が湿っていたらスノコ等で濡れない場所を用意します。また、冷たい水をいつも飲めるようにします。カビのでた干し草は、ヤギは食べません。高温多湿の時は、カビが生えやすいので、エサ箱に何日も入れたままにせず、えさ箱の掃除、水洗いや毎日、新しいエサを与えます。

#### ㊧体調がわるい

草も食べず、さらに、ヤギの耳と尻尾が垂れたままで、また糞がコロコロでなく湿気があり糞同士がくっついたりしている（団子状あるいは液体状）ようなことがあれば、整腸剤を投与する必要があります。獣医師に相談しましょう。

#### ㊨危険や不安を感じた

野犬やキツネ等の肉食動物を見たり、威嚇されたりし危険を感じると小屋の中から出て来なくなり、常に警戒している状態になります。放牧場所をかえたり、飼育者が近くにいて、見守るようにします。人が近くにいると安心して食べ始めます。

### ③台風の時

湿気を嫌うので、風で屋根が飛ばず、横殴りの雨が隙間から入らないよう周りにシートをかけるなどの対策が必要です。床もスノコ等で地面から高くして濡れないようにします。

### ④目的地に行かない時…思ったとおりに動かない

リードをつないだ上で、穀物飼料を手に持ち、それをご褒美のエサとし誘導します。ただ、与えすぎるとお腹を壊します。1回につき一握りで、1日に1～3回程度とします。

### ⑤近所から苦情がきた時…飼育場所の近所の理解を得る

メスと去勢したオスは体臭が少なく、糞の臭いも少なめですが、全く臭わないわけではありません。また、鳴き声も複数頭で飼う場合は、あまり鳴かないのですが、お腹がすいていたり、メスは発情期になると鳴きます。また、脱柵した場合に、農作物を食べる等の食害の可能性もあります。ヤギを飼育する場合、このようなリスクがあることを飼育者自身が認識し、周りに迷惑をかけないよう「看板を立てる」などの配慮を行ったり、近所の方に、事前に説明して、理解を得るようにします。

### ⑥猟友会・有害鳥獣捕獲班等に知らせ、連携する

毎年11月15日から2月15日（イノシシ、シカは2月末日）までは、狩猟期間となります。また、狩猟期間以外にも農作物等への被害対策のため、有害鳥獣捕獲が行われています。その時、猟犬を使用し、ヤギが猟犬の被害に合う事例もあります。それを防ぐため地元の猟友会の方にヤギを飼っていることを知らせ、猟犬を放す場合は連絡をお願いし、ヤギを小屋に入れるなどの対策をとります。

### ⑦放牧用フェンス又は電気柵を使用するポイント

#### ㊩ワイヤーメッシュ・防鳥ネット・亀甲金網

ヤギは成ヤギになると、防鳥ネットや亀甲金網に前足をかけ上ったり、押ししたり引っ張ったりして最上部をたわませたりして、柵の外に出ます。一度でも脱柵の経験すると繰り返すようになります。また、同じように「ワイヤーメッシュ」で囲った柵（高さ2m）でも除草する距離があれば飛び越えて脱柵します。これは、柵の中に好きな草が少なくなった時に発生するので注意が必要です。子ヤギは、ワイヤーメッシュ角15mmだと通り抜けます。

## ①電気柵

ソーラーとバッテリーを置いて、電気柵を使用する時は、「電気が来ており危険」の看板を表示します。ヤギは何回か電気柵に触れる経験をし、電牧柵に恐怖心を持つと近づかなくなります。

電気ワイヤーは地面から、おおむね20cm、20cm、20cmと30cmの間隔の4段張ります。

### ※電牧柵への馴致のポイント

③ヤギは見慣れないものがあると、臭いをかいだり、口にくわえたりする習性がある。電牧柵を放牧前に、ヤギが興味を示して柵に接触する体験を繰り返します。強制的な接触では、電気ショックの記憶が飼養者と結びつき、管理が難しくなるので、コントロールします。

④馴致の時に、電牧柵を飛び出してしまう場合は、電牧柵に触れる程度にリード紐で飛び出しをコントロールします。飛び出しの癖をつけてしまうと、コントロールが難しくなります。

※ ヤギが電気柵に接触した時に驚いて、前に飛び出し電気柵を突破する経験をさせないためにヤギが電気柵に触れる程度の長さのロープで繋ぼくする。開始5分以内に数回接触してパニック状態になります。約30分後にもう一度接触するなどを繰り返し、2日ほどすれば、学習して近づかないようになります。

◎自然的に接触させることで、「恐怖心」を持ち、近づかなくなったら馴致が終わります。

④漏電や故障で電気が流れないと「恐怖心」は薄れて脱柵するため、いつも通電すること。

※電気柵に雑草等があたり漏電し、電気ショックの威力が減少するため柵の下を除草をしたり、漏電していないかの確認をしたりする。

## ヤギを飼う前の届け出

### ①動物取扱業の登録について

「動物の愛護及び管理に関する法律」により、動物取扱業を営もうとする人は、業の種別ごとに事前に登録又は届出申請をしなければいけません（動物愛護センターで手続き）

### ②第一種動物取扱業（申請には、愛玩動物飼養管理士2級以上が必要）

有償、無償を問わず、事業者の営利を目的として、反復・継続し社会性をもって業を行うものが対象となります。（販売・保管・貸出・訓練・展示・競りあわせ業・譲渡飼養業）

※事前に事業所、飼育施設を設置している場所を管轄する自治体への登録申請が必要。

### ③第二種動物取扱業

営利を目的とせず、飼養施設を有して一定数（3頭）以上の動物を譲渡、保管、貸出、訓練、展示する方が対象となります。

※一定数以上の動物とは、大型動物（頭胴長およそ1m以上のウシ、シカ、ウマ、ロバ、イノシシ、ブタ、ヒツジ、ヤギ等）3頭以上

※事前に事業所、飼育施設を設置している場所を管轄する自治体への届け出申請が必要。

○問い合わせ先…広島県動物愛護センター電話0848-86-6511 三原市本郷町南方8915-2  
呉市動物愛護センター電話：0823-70-3711 〒737-0161呉市郷原町2380-319

### ④飼養衛生管理基準定期報告書

平成23年の家畜伝染病予防法の改正により、家畜の飼養者は、毎年2月1日時点の飼養状況を畜産事務所へ報告することが義務付けられています。

○報告対象者…次の家畜を1頭（羽）以上飼養する方

・牛、水牛、鹿、めん羊、ヤギ、馬・豚、イノシシ・鶏、その他家きん（あひる（合鴨）、うずら、きじ、だちょう、七面鳥等）

○報告期限…毎年4月15日（ファックスでも良い）

○提出先・問い合わせ先 広島県東部畜産事務所（東部家畜保健衛生所）電話084-921-1311  
福山市三吉町1-1-1

広島県西部畜産事務所（西部家畜保健衛生所）電話082-423-2441  
〒739-0013 東広島市西条御条町1-15







